

タウンニュース

川崎市宮前区版 2023年3月24日掲載

市政報告 「宮前区のミライづくりプロジェクト」が動いています 「活力と潤いのあるまち」「新しい宮前区」 みらい川崎市議会議員団 おだかつひさ



おだかつひさ

1961年幸区生まれ。駒場東邦高校、中央大学法学部卒業(地方自治、都市政策専攻)国会議員秘書を経て、2003年市議会初当選、現在5期目。まちづくり委員会委員、2021年5月、市議会副議長に就任。好きな言葉「知行合一」、嫌を避くる者は皆内足らざるなり」有馬在住

おだかつひさ

宮前区を「もっと居心地へ!」「宮前区のミライ」の地よく「もっとスムーズ」方向は定まりました。「機能的な生活を実感できる」「新しい宮前区」に創り変えるために!。
「都市マス」に即す方向
川崎市のまちづくりの「憲法」とも言うべき「都市計画マスタープラン」の地域生活拠点づくり、整備を進めてきました。懸案の「交通アン宮前区構想」には、クセス環境」改善の前提「鷺沼・宮前平駅周辺地区」では、川崎中部エリア条件が揃いました。多くの世代がバランスの地域生活拠点として、よく住み続けられるまち 宮前区の顔としてふさわ

しい拠点の形成をめざす」とあります。さらに「交通結節機能の強化を図り、地域生活ゾーンの核となる拠点の形成をめざす」とされています。しかし、市役所も区役所も、宮前平駅から区役所までの無料シャトルバスの運行をはじめ、全区におけるコミュニティ交通の導入に難色を示し続けてきたのが、この20年間でした。
「有馬・東有馬地区」コミュニティバス導入」の挫折から地域の要望を受け、地域の町会、自治会、商店会の皆さんと市内で初となる「運行実験」を20

09年と2015年の2先課題です。回りましたが、本格運行は実現できません。向上の課題として、バスた。その理由が「採算路線の見直しとコミュニティ」と「鷺沼駅前に現状ではバス停の新設ができ加速化させて参ります。ない」とのことでした。多世代がバランスよくこの古い経験が「鷺沼駅周辺の都市マスに沿った拠点整備を」と私が決意した原点であることは、これまで皆様にお伝えしてきたとおりです。動きだす「ミライづくりプロジェクト」

宮前区のミライづくりプロジェクトの概要について

- | 宮前区のミライづくりプロジェクト | |
|------------------|-------------------------|
| 1 | 新宮前市民館・図書館・区役所の整備に向けた取組 |
| 2 | 現区役所等施設・用地の活用に向けた取組 |
| 3 | 向丘出張所の機能の充実に向けた取組 |
| 4 | 駅アクセス向上に向けた取組 |

鷺沼駅前地区
再開発事業

